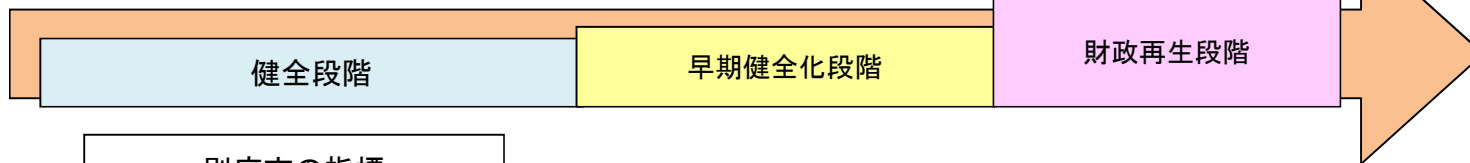


健全化判断基準・経営健全化基準

(平成27年度決算)

[財政の健全化判断基準]



	別府市の指標	健全段階	早期健全化段階	財政再生段階
実質赤字比率※	—	12.07%～	20.0%～	
連結実質赤字比率※	—	17.07%～	30.0%～	起債の制限 財政再生計画の策定 (議会の議決) 外部監査の義務付け 実施状況の議会報告
実質公債費比率	2.2%	25.0%～	35.0%～	
将来負担比率※	—	350.0%～	財政健全化計画の策定 (議会の議決) 外部監査の義務付け	

※公表については、赤字額がない場合等は「—」で記載することとなっています。

[公営企業の経営健全化基準]

◎資金不足比率

水道事業会計※	—	20.0%～
公共下水道事業特別会計※	—	20.0%～
地方卸売市場事業特別会計※	—	20.0%～

※公表については、資金不足額がない場合は「—」で記載することとなっています。

早期健全化段階

「早期健全化段階」は、いわばイエローカードともいうべき段階で、議会の議決を経て「財政健全化計画」の策定が義務付けられるとともに、実施状況を、毎年度、議会に報告し公表しなければなりません。また、早期健全化が著しく困難であると認められるときは、都道府県知事は、必要な勧告をすることができるとされています。

財政再生段階

「財政再生段階」は、いわばレッドカードともいうべき段階で、地方債の起債制限を受けるとともに、議会の議決を経て「財政再生計画」の策定が義務付けられ、実施状況を、毎年度、議会に報告し公表しなければなりません。また、財政再生団体の財政の運営が計画に適合しないと認められる場合等においては、総務大臣は、予算の変更等必要な措置を勧告できるとされています。